

若葉区里山サイクリング便り

冬の風物 (5)

～「千城台野鳥観察園」と「おぐらの森」へ行く～

2013/02/04

今回ご紹介するのは、若葉区の自然をテーマとして、「千城台野鳥観察園」と「おぐらの森」を訪れる、家族連れや初心者楽しんでいただけるルートです。

2月はまだ寒さが厳しい時期ですが、春はすぐそこまで来ているようですから、温かいサイクリング日和の日を選んで出かけてみてはいかがでしょうか。

ルートの概要

<若葉区役所>～桜木北～<国道51号の下を通る>～桜木～小倉町～千城台西～小倉台・千城台北～小倉町～若松町～桜木北～<若葉区役所>

「千城台野鳥観察園」へ

区役所を出発して、桜木北の小路を行く。オリンピックの脇に通じる道を辿り国道51号の下をくぐり、住宅地を通り抜けると坂月川のところに来る。坂月川の西側（加曾利町）を行く。千葉中央メディカル（病院）を通過し、車道に出たらそこを左折し橋を渡る。小倉町に入る。T字路を右折し道なりに進む。真浄寺の辺りで道は大きく左に曲がる。道なり進む。右手に谷津田を見ながら三叉路を直進し、銀杏並木通りに入る。左折して坂を上りきったところで右折する。両側に古い民家のある小路を進む。公園に突き当たったところは千城台西である。公園のところのT字路を右折し急な坂を下ると広い車道に出る。

「千城台野鳥観察園」

車道の向こうには金網で囲まれた調整池が見える。坂月川に流れ込む雨水を調整する池である。車道を右折し十字路で調整池の側に渡る。「千城台野鳥観察園」の説明板がある。千葉市が調整池を整備し、昭和62年に開設した野鳥観察園。ここで見られる野鳥はゴイサギ・バン・カイツブリ・カルガモ・ヒヨドリ・キジバト等。

観察地点には覗き窓のついた塀が設置されているので、野鳥に気づかれることなしに観察できる。池の周囲は金網が張り巡らされている。調整池の東側から池の中央に突き出た半島（「おむすび山」）に人が立ち入ることはできない。野鳥の楽園である。

坂月川では自然の環境で野鳥を間近に見ることができる反面、野鳥が人に気づくと飛び立ってしまうことがある。ここではそういうことはない。

「里山地区 おぐらの森」へ

野鳥観察園から先に進む。池を反時計回りに進み、学校（「千城台西小」）の手前で左折し、「おむすび山」を左、学校を右に見ながら進み、十字路を越え、小さな公園を左に見ながらなだらかな坂道を上る。坂上の信号のある交差点を右折する。

【寄り道】 右折せず直進し、次の信号を左折すると右側に「JA千葉みらい農産物直売所」（「しよいかーご」）がある。ここに寄り道して、昼食（「おぐらの森」でのピクニック）用に、手ごろな値段の食材（おかず付き

おにぎりセットなどいろいろ) を買うのもよいだろう。

すぐに信号のある交差点に至る。いくつもの道が交差する変則的な交差点（「千葉東警察署前」）で広い道を斜めに横切る形で進む。小倉台と千城台の境界を走る道である。やがてモノレール通りに出る。直角に銀行（「千葉銀行千城台支店」）がある。モノレール通りを横断して直進する。次の信号のある交差点、直角にコンビニ（「セブンイレブン」）がある御成街道との交差点に至る。

道は御成街道の少し手前から小倉町に入っている。御成街道を横断して道なりにしばらく進むと左手に「おぐらの森」が見える。



「おぐらの森」の入り口



「おぐらの森」のピクニックテーブル

おぐらの森から先に進む。道が緩い下り坂となり、左に折れる。道なりに進み、坂を下りきったところでT字路に突き当たる。この辺りは並木川の源流に当たる。T字路を左折すると道は上り坂となる。道は若松町に入る。左に大型の倉庫が見える十字路に差し掛かったら右折する。次の十字路を左折する。

ここからは、概ね国道51号に並行して走る裏道を走り、御成街道を横断し、若松中の前を通り、ロイヤルホームセンターの裏の道を走って、オリンピックの脇に出ることになる。詳しくはルートマップを参照。